

## 小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。

未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	国語「主語と述語」の学習	
学年	2年	
目標	「主語と述語で文章ができるか考えよう」	
教材タイプ	ビジュアル言語	
使用教材	ビスケット	
環境	25人で25台の端末を使用	
都道府県	大分県	
実施校	臼杵市立福良ヶ丘小学校	
学習活動の概要・児童の様子 (プログラミングの活動を中心に記載ください。)	 	<p>主語（ぼくは、犬は、スイカは、月は…など自分で考えた主語）と述語（小学生だ、かわいい、おいしい、きれいなど自分が考えた述語）をプログラムによってランダムに発生させた。</p> <p>「ぼくは」+「おいしい」＝「ぼくはおいしい」…といった、主語と述語のミスマッチした文が成立したときに笑いの渦が起きた。</p> <p>このことから、主語と述語だけでも文章が成立することに気付き、正しい主語と述語を用いないと伝えたいことが正確に伝わらないことについて考えた。</p>
成果と課題	プログラミングの活動はどの児童も楽しく積極的に取り組むことができた。「主語と述語」の定着には、この時間だけでは十分とは言えないが、理解を促進することができた。	